

平成29年度 東北総合体育大会山岳競技ブロック会議 兼  
日山協スポーツクライミング部ブロック別研修会 報告

1. 日時：平成29年11月25日（土）～26日（日）
2. 参加者：伊藤吉樹、田中正浩
3. 場所：仙台市「茂庭荘」
4. 講師：日本山岳・スポーツクライミング協会  
技術委員長 山本和幸、国対委員長 西原斗司男、アンチドーピング常任委員 多賀啓
5. 全体研修の後ブロック会議(伊藤)とC級審判員認定研修(田中)に分かれて参加した。  
ブロック会議での報告・意見交換等の主な内容を中心に報告する。(別添資料 p1～p18)
  - (1) 日山協報告（高橋時夫副会長より、別添資料 p5～p8 に詳細）
    - ① 協会の名称変更、オリンピックに向けて選手強化体制に注力した。
    - ② 平成30年度日山協総会：H30年6月10日(H30より時期変更)
    - ③ 東北地区山岳連盟・協会ブロック会議のあり方について新提案あり。(p6)  
来年の東北六県協議会(H30年5月12日(土)～13日(日)、岩手担当)から、参集範囲を広げたい(三役・指導・遭対・自然保護・選手強化)。経費等の裏づけは無いので、各県又は個人の負担となってしまうが、宿泊経費の安価な宿泊施設で、岩手県担当で考えたい。
    - ④ 東北地区スポーツクライミング大会開催について：H30岩手開催で検討したい。(p6)
  - (2) 第44回東北総体山岳競技の総括について（秋田県浦山理事長、p12～p14）  
東北総体で始めて、リード競技を中止した。天候により次年度以降も対応策必要。  
競技会場特に、リード競技に関しては各県老朽化もあり同様の悩みあり。(p16)
  - (3) H30年度東北総体は、宮城県で開催。H30年7月27日から29日。(p15)
    - (ア)ボルダリング会場：加美町総合交流ターミナル(やぐらボルダリングスペース)
    - (イ)リード会場：宮城県第二総合運動場 宮城県クライミングウォール
    - (ウ)東北総体申込締切日を、6/21→月末に遅らせることを伊藤が要請した。
    - (エ)宮城吉田会長より要望書、日山協より p17 の大会経費調査があった。
  - (4) 各県山岳連盟と高等学校登山部との関係について意見交換があった。  
各県から現状の報告あり。県によっては、必ずしも良好では無い様であったが、山形県と岩手県は、かなり良好に感じた。いずれにしても、高等学校登山部は重要で大切な組織であり、各県山岳連盟側から、より積極的にアプローチすることが必要である旨のまとめをした。
  - (5) その他：
    - ① H32 東北総体(山形)に向けて審判員を養成しないと大会できない。  
H30・H31 はC級審判員養成必須。ブロックでの開催は厳しいのかも？
    - ② 岩手県山岳協会は、「一般社団法人化」を検討中。